

業務用携帯電話の活用と、 アグリサポートワゴン・トラック活用で、 細やかな巡回・迅速な対応を図ります。

農機車輛事業の集約拠点化に伴い7月1日より「農機センター」(菊池市旭志)と、「カークリニック」(菊池市泗水町)の2拠点での業務を開始しました。それまで5つの拠点(菊池市の3ヶ所・合志市・大津町)で実施をしていましたが、整備士の減少による人員不足に伴い熟練した知識の伝承や技術継承が課題となっていました。拠点化に伴う対応策の強化として業務用携帯電話の活用と、アグリサポートワゴン・トラック活用で、細やかな巡回・迅速な対応を図ります。時代の変化に対応し組合員の負託に応えられるよう、出向く体制の強化と効率的な事業を行ってまいります。



リニューアルした農機センター
森副組合長 東組合長 農機車輛部松田部長



拠点化開始前に農機車輛部職員に訓示を述べる東組合長

熊本県JA-SS NO.1コンテストでW受賞!

フルSS NO.1に合志中央SS セルフSS NO.1に菊陽セルフSS

熊本県JA-SS本部研究会は「地域に愛され信頼されるSSづくり」を目的に、イメージアップ部門とカーケアマッチレース部門を設置し、毎年コンテストを開いています。JAにより選抜されたフルSSとセルフSS延べ36店から、フルSSでは合志中央SS、セルフSSでは菊陽セルフSSがそれぞれNo.1認定店に選ばれました。イメージアップ部門では身だしなみや接客、清掃状況などを審査。カーケアマッチレース部門では、燃油量あたりのカーケア商品販売高を競い、総合ポイントが最も高かった店舗が、JA-SS No.1認定店として表彰されました。エネルギーを取り巻く環境は厳しく、石油やLPガスの需要は減少傾向ですが、これからも組合員、地域の皆様に選ばれる店づくりに努めてまいります。部門表彰では、大津中央SS、泗水セルフSSもカーケアマッチレース部門でそれぞれ2位を受賞しました。



合志中央SS

中野所長



菊陽セルフSS

米野所長